



しゅくだいたしかめひょう

11月6日～11月13日

おわったらサイン	今週のしゅくだい	
1	音読 教科書 P40～P49	
2	かん字かんぺきくんP27～P29 (細・角・工・科) P30「テストのれんしゅう⑥の④～⑦」 (←かん字を書くテスト②④)	
3	ワークシート「馬のおもちゃの作り方 ①・②」	
4	「馬のおもちゃの作り方」を読んで馬のおもちゃを作る	
5	ことばと文のれんしゅう「じゅんじょをあらわすことば」	
6	つづけてみよう③②	
7	一年生のかん字 かん字に読みがなをつけましょう⑨	
8	クロスワードパズル32「時をあらわすことば」	
9	かん字を読む②④ (←かん字を読むテスト②④)	
10	かん字読むテスト②③・かん字書くテスト②③	⇒授業前に実施
11	11月のうた「かいじゅうのバラード」をうたう	

おうちの方へ 黄色いハイライトが引かれた宿題を11月12日午後5時までにご提出ください。



音読カード

きのうよりじょうずに読めたかな

よくできた ☺ できた☺ もうすこし ☹

読んだところ (馬のおもちゃの作り方・おもちゃの作り方をせつめいしよう)							
読むめあて	土	日	月	火	水	木	金
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸でくぎってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ ないようが分かる							
おうちの人のサイン							

馬のおもちやの作り方 ①

上の文を読んでもんだいにこたえましょう。

教 41ページ8行〜42ページ9行

まず、馬の体や あしになるぶひんを 作ります。空きばこから、四センチメートルずつ四つ切り出しましょう。そのうちの三つが、馬の体になります。のこった一つは、半分に切り分けましょう。これは、馬のあしになります。

つぎに、馬の体を作ります。体のぶひんの うちの一つを よこむきにおきます。これが、馬のおなかになります。もう一つを たてにして、はしを合わせて おなかの上におきます。これが、馬の首になります。おなかと首が かさなったところを、ホチキスでとめます。のこったもう一つは、よこにして おなかの上におきます。これが、馬のせなかになります。せなかは、おなかと首に、ホチキスでとめます。これで、馬の体ができました。

〈みやもと えつよし「馬のおもちやの作り方」より〉

(5) じゅんじよをあらわすことばを、文しよう中から二つ書きぬきましよう。

(1) 空きばこから、いくつ切り出しますか。

(2) 空きばこを切るとき、何センチメートルずつ切りますか。

(3) (1)で切ったぶひんの一つを半分に切り分けるのは、何を作るためですか。

(4) 馬の体を作る三つのぶひんは、それぞれ馬の体のどのぶぶんになりますか。すべて書きましよう。

馬のおもちやの作り方 ②

1 つぎの文しようを読み、教科書のしやしんを見て、もんだいにこたえましよう。

教科書 42ページ10行〜43ページ7行

それから、馬のあしを作ります。一つのあしのぶひんから、十二センチメートルの細長い四角形を二つ切り出します。四つできたら、それぞれかたほうのはしを二センチメートルおりまげます。その後、しやしんのように、おりまげたところを おなかにとめます。さいごに、顔を作ります。色画用紙を、たて九センチメートル、よこ四センチメートルの 形に切ります。目やはなをつけたら、首の上にはり、耳をつけます。

これで、馬のおもちやのできあがりです。たてがみやしっぽをつけたり、すきな色の画用紙をはったりしてもいいですね。

〈みやもと えつよし「馬のおもちやの作り方」より〉

(1) 馬のあしのぶひんの かたほうのはしを おりまげるのは何のためですか。合うものに○をつけましよう。

Ⓐ () 馬のひずめらしく見せるため。

Ⓘ () おなかにとめやすくするため。

Ⓛ () ちょうどよい長さにするため。

(2) 馬の顔は何で作りますか。

(3) できあがった馬のおもちやにもっとくふうをしたいときは、どのようなことをするとよいですか。合うもの二つに○をつけましよう。

Ⓐ () たてがみやしっぽをつける。

Ⓘ () あしをひぎのあたりでおりまげる。

Ⓛ () 目やはなや耳をつける。

Ⓔ () すきな色の画用紙をはる。

ことばと文のれんしゅう 「じゅんじよをあらわすことば」

1 おぼえましょう

◇ じゅんじよをあらわすことばの
つかい方をおぼえましょう。

まず、ハンカチを
ぼうしにかぶせます。



つぎに、ぼうしを
もち上げてゆらしめます。



それから、ゆっくりと
ぼうしをおきます。



やうやく、ハンカチを
とります。



はとがとび出しました。



※ 「まず」のかわりに「はじめに」と言ったり、
「つぎに」のかわりに「こんどは」と言ったり
することもあります。

2 れんしゅうしましょう

1 じゅんじよが正しくなるように、() に2、
5のばんごうを書きましよう。

(1) 紙とえんぴつがあります。

() つぎに、丸の中に、山を二つ
かきます。

() それから、二つの山の下に、
三角をかきます。

() はじめに、紙にえんぴつで
大きな丸をかきます。

() さいごに、三角の下に丸の下
の半分をかくと、わらった
顔ができます。



2 () にあうことばを、 からえらんで書き
ましよう。

花のたねをうえます。

() 、ゆびで

土にあなをあけます。

() 、あなの

中にたねをおきます。

() 、たねの

上から土をそっとかけます。

() 、水をたっぷり

やります。



つぎに ・ でも ・ それから
さいごに ・ まず ・ すると

つづけてみよう③②

(十一月六日～十一月十二日)

こころにのこったことを書いてみましょう。(できごと・見つけたこと・
はじめて知ったこと・本で見つけたことば・人に言われたことば など)

こころに のこった できごと



12日 (金)	11日 (木)	10日 (水)	9日 (火)	8日 (月)	7日 (日)	6日 (土)	日

④1 お正月にお年玉をもらう。

④2 千円さつをさいふから出す。

④3 青年はお金を大じにつかう。

④4 白い貝がらを八つひろった。

④5 青い糸がと中でできた。

<p>玉 たま</p> <p>ギョク 玉入れ 宝玉</p> <p>三つの玉を ひもで むすびつけた 形。むかしの人は玉を大切にしました。</p> 	<p>円 まるい エン</p> <p>円い紙 百円</p> <p>おいりの うつわが 円いので、○をつけ(貝)、また、○でかこみ(圓) 円いことを表します。</p> 	<p>金 かね</p> <p>キン コン お金 金メダル 金よう日 金色</p> <p>銅のかたまりをつくる ときの 形から できた 字。もとは 金物を 表していました。</p> 	<p>貝 かい</p> <p>貝がら</p> <p>貝の 形。むかし 貝は 大切な ものでした。お金の ように使われたときも ありました。ですから、お金と かんじにある字に よく 貝が ついています。</p> 	<p>白 しろ</p> <p>しろい ハク 白色 白い花 白鳥</p> <p>白くなった 頭が骨の 形。ほかに どんぐりの かわを ぶいた 形とする 考えもあります。</p>
--	--	---	--	---

かん字の
でき方を
読みまし
よう。



かん字を読む②④

①から⑩まで声に出して読みましょう。

土
日
月
火
水
木
金

↑読んだら○をつけましょう。

① けん玉の作り方。

① けんだまのつくりかた。

② 絵としゃしんを入れる。

② えとしゃしんをいれる。

③ 図画工作の時間。

③ ずがこうさくのじかん。

④ 馬のことを教える。

④ うまのことをおしえる。

⑤ 友だちから学んだこと。

⑤ ともだちからまなんだこと。

⑥ 分かりやすく書く。

⑥ わかりやすくかく。

⑦ 毛糸の長さをはかる。

⑦ けいどのながさをはかる。

⑧ 二つの紙コップ。

⑧ ふたつのかみこつぶ。

⑨ 何回か数える。

⑨ なんかいかがぞえる。

⑩ 文しようの組み立て。

⑩ ぶんしようのくみたて。

☆来週の読むテストのもんだいです。おもに、「おもちゃの作り方をせつめいしよう」に出てくるかん字です。一日一回、声に出して読みましょう。



かん字を読むテスト

23

名前

★つぎの——線のかん字の読みがなを書きましよう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
楽 し み () () 方 を () () 教 え る。 () ()	顔 に () () 耳 と () () 目 を つ け る。 () ()	太 く て () () 長 い () () 形 。 () ()	四 角 形 の () () は こ で () () 作 る。 () ()	半 分 に () () 切 り () () 分 け る。 () ()	馬 の () () 足 と () () 体 。 () ()	色 画 用 紙 を () () 切 る。 () ()	図 と () () 同 じ () () 大 き さ。 () ()	空 き ば こ () () 一 つ。 () ()	み の 回 り に あ る 食 べ も の。 () ()

かん字を書くテスト

23

名前

★太い字をかん字で書きましょう。——線のことばは、おくりがなも書きましょう。

① すきな色のがようし。

② うまのおもちや。

③ えをかく。

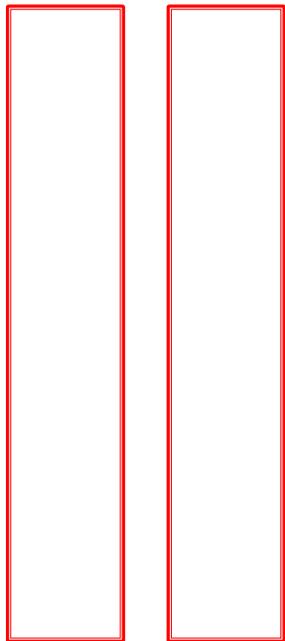
④ ほそいひもをむすぶ。

⑤ ながいくびのきりん。

⑥ ちいさなあきば。

⑦ くびにマフラーをまく。

○「馬のおもちゃの作り方」が、どんなまとまりに分かれているか
たしかめましょう。



、馬の体やあしになるぶひんを作る。



に、馬の体を作る。



、馬のあしを作る。

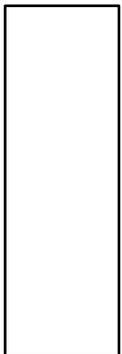


その後、あしを

にとめる。



、顔を作る。



これで、

はできあがり。



おなかをもち、せなかを おしたりひいたりすると、首が大きくうごく。

